

株式会社環境アセスメントセンター (Environmental Assessment Center CO., LTD)

<http://www.eac-net.co.jp>



北信越支社企画部 柴田洋二 Shibata@eac-net.co.jp

1. 地域と企業の環境関連活動を支援するプロとして

弊社は、事業や企業活動に伴う環境問題を解決するため、地域の特性を重視した“手づくりのアセスメント”の提案を企業理念として、昭和50年に設立しました。

設立以来、その理念に沿って環境アセスメント、自然環境調査、地質調査等の業務にたずさわって参りました。環境問題は都市域から自然豊かな地域まで広範囲にわたるため、事業に伴う緑化計画や緑地管理、地域の各種計画策定、工場敷地の生物多様性評価などに重点を置いて事業を展開してきました。

これらの業務を通じ、地域の自然の豊かさや生物多様性を保全・再生する技術を開発し、地域や企業の皆様、そして自然環境へ還元しようとするのが私たちのこだわりです。

2. 主な活動内容

私たちの活動の基礎となるものが自然環境調査です。弊社では求められるデータを得るために、地域特性(地形・地質、気候、植生など)を考慮した調査計画を検討し、調査を実施しています。

自然環境調査では、特に動植物調査をはじめ、猛禽類調査などの分野をカバーしています。技術的な部分では、夜行性動物などの確認の困難な分類群(夜行性動物など)の観察手法の工夫に重点を置き、無人撮影、テレメトリー調査など効果的な情報収集をおこなっています。また、これらの技術を駆使した鳥獣害対策にも力を入れています。猛禽類では、事業の進捗を考慮しつつ効率的な調査を実施するほか、様々な状況に応じた観察手法や無人撮影、GISを用いた営巣地評価などをおこなっています。



写真-1 地域性種苗を導入した斜面緑化の事例

3. 事業に伴う緑化計画・自然再生

道路事業や河川・ダム事業における、切土や盛土の緑化や堤防の植生管理なども近年は自然環境に配慮した工法や管理手法が重視されてきています。道路事業では、都市部から自然度の高い場所まで様々な地域条件に応じた緑化手法の提案、ビオトープの計画やモニタリングによる自然再生をおこなっています。また河川堤防草地では、治水的な観点からの草地の評価や法面強度に影響を及ぼす植物の抑制手法の研究開発をおこなってきました。

4. 企業所有地の生物多様性保全や利活用

近年、都市における企業所有地内緑地における地域の生物多様性向上への貢献が見直されています。弊社は、工場緑地の生物的な基礎調査結果をもとに、生物多様性向上に向けた林相転換や管理手法の検討等をおこなっています。また緑地をフィールドとした観察会の企画や情報発信などもおこない、企業の生物多様性ブランド向上、費用対効果改善に向けた取り組みやCSRのお手伝いもしています。

これからも地域に根ざした環境関連活動支援のプロとして、自然と共生する社会形成を目指して頑張りたいと思います。

表-1 会社概要と連絡先

商号	株式会社環境アセスメントセンター
本社所在地	静岡県静岡市葵区清閑町 13-12 TWIN CORE ビル
支社所在地	長野県松本市梓川優 3708 番地 1
創業年	昭和50年5月13日
資本金	7,980万円
事業内容	自然環境調査, 緑化計画, 都市・地域計画, 企業CSR支援, 環境学習
本社連絡先	TEL(054)255-3650
支社連絡先	TEL(0263)76-1620

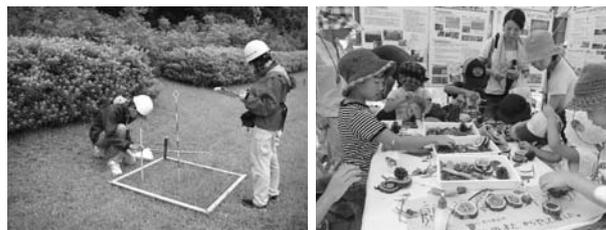


写真-2 工場緑地をフィールドとした調査・イベント